

## 追加された次元

天へと帰還する銀の光  
その束  
白い風車がゆっくりと回転する  
その軌跡

自らの複製を企む者よ  
乾いた6月の夜に辺りを見回すがいい

その扉はお前を隔離するものか、それとも  
売り渡すものか

張りめぐらされた信号径路  
その新たな次元  
空間とは無縁の  
五感とは無縁の

再生ではなく  
再生産となったもの  
それこそが紛れもなく生である、と  
全ては形を変えるのみであって  
永遠である、と  
声高に叫び、喚く組織体

そして、その傍らで  
その力によってのみ  
朽ち果てる速さをコントロールする肉体

場所  
時間  
環境  
無意味な関数となったそれら・・・

(2007.7.5)